

5. やまなし文学賞

■第19回概要

1 応募状況

小説部門

応募作品数 338編

- * 40都道府県から337編及び海外1カ国（カナダ）から1編
- * 男性237編、女性101編（山梨県在住者27編）
- * 最年少者は15歳（県内女性）最高年者は94歳（県内84歳）

研究・評論部門

推薦作品延数 119編

- * 自薦 16編（単行本 13冊）
- 他薦 103編（単行本 103冊）

2 選考委員

小説部門 三浦哲郎・坂上 弘・津島佑子

研究・評論部門 菅野昭正・高田 衛・十川信介

* 三浦哲郎氏は平成22年8月29日に逝去されたので、小説部門は、坂上・津島両氏の選考であった。

3 選考会

研究・評論部門 平成23年2月15日(火) 午前11時から午後2時30分

小説部門 平成23年2月23日(休) 午後2時から午後5時

4 選考結果発表

平成23年3月1日(火) 午後3時から 文学館ホームページ

5 選考結果

小説部門

やまなし文学賞

宮野 晶 「真空管式」

やまなし文学賞佳作

井野登志子 「風の行く先」

冬川 文子 「お魚にエサをあげてね」

研究・評論部門

やまなし文学賞

戸松 泉著 『複数のテキストへ 樋口一葉と草稿研究』(2010年3月 翰林書房)

戸松 泉 氏 東京都在住 相模女子大学学芸学部教授

齋藤 希史著 『漢文スタイル』(2010年4月 羽鳥書店)

齋藤 希史氏 東京都在住 東京大学大学院総合文化研究科准教授

6 表彰式

平成23年3月16日(水) 午後2時～午後3時30分 当館研修室にて、執り行う予定だったが、次の理由により延期、さらに中止となった。

(経過)

3月11日(金)に東日本大震災が起こったが、受賞者への敬意を払うため、また、やまなし文学賞にとっても大切な表彰式であるので25日(金)に延期した。

しかし、3月15日静岡県富士宮市を震源とする地震があり、その後も関東を中心とする地震が続き、さらに計画停電による公共交通機関の混乱もあり、北海道、石川、愛知、東京等遠方からの受賞者・選考委員その他の関係者の安全を保障することができないことや、東日本大震災の被害の状況から慶事を差し控えることが望ましいと判断し、中止を決定した。

7 新聞掲載

小説部門受賞作3作は、山梨日日新聞に掲載。